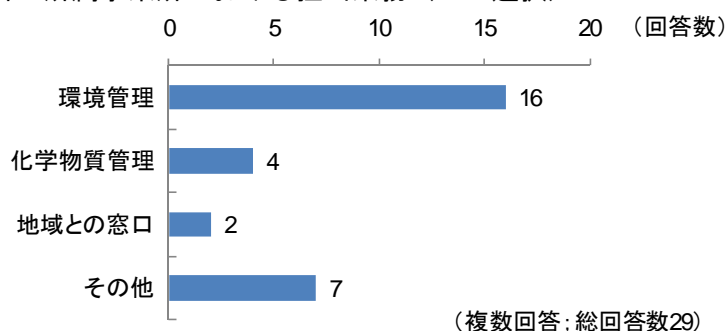


「事業者のためのリスクコミュニケーションセミナー」 参加者アンケート集計結果

セミナー開催日：平成22年6月30日（水）

- 実施日 平成22年6月30日（水）
- 実施機関 宮城県環境生活部環境対策課
- 回答数 回答30件／参加者37名（回収率81%）

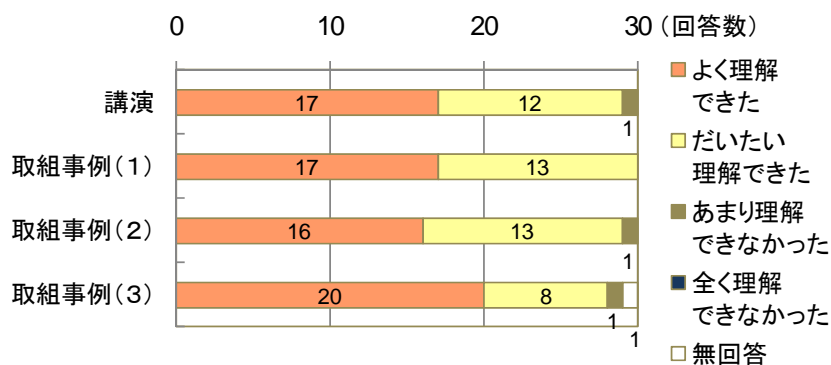
1 参加者の所属事業所における担当業務（一つ選択）



<「その他」の内容>

行政 / 品質管理 / 品質管理, 品質保証 / 社長 / 環境 / 環境
OHSAS管理 / 環境管理, 化学物質管理, 地域との窓口すべて
（※OHSAS:労働安全衛生マネジメントシリーズ(Occupational Health and Safety Assessment Series)のこと。）

2 セミナー内容の理解度（各一つ選択）及び感想・意見



<感想・意見>【講演】

- ・化学物質管理とリスクのつながりや、各々の必要性を再認識できました。
- ・公平な視点で判断することの大切さ。

<感想・意見>【取組事例（1）：化学物質アドバイザー】

- ・各事例をお聞きでき、今後の取組の参考にさせていただきたいと思います。
- ・分かりやすい説明でした。
- ・事例が良かった。もっと多くの事例を紹介いただきたい。

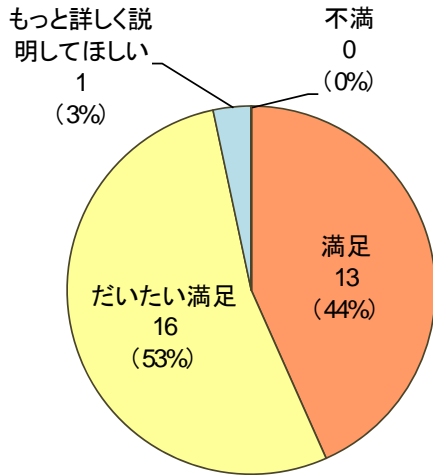
<感想・意見>【取組事例（2）：エム・セテック（株）仙台工場】

- ・各事例をお聞きでき、今後の取組の参考にさせていただきたいと思います。
- ・もう少し具体的であればいいと思います。
- ・モデル事業の利点が分かりました。

<感想・意見>【取組事例（3）：ソニー（株）仙台テクノロジーセンター】

- ・各事例をお聞きでき、今後の取組の参考にさせていただきたいと思います。
- ・姿勢、アイデアとも参考になると思います。
- ・社内のリスクコミュニケーション。
- ・地震等のハザードを地域とコミュニケーションできないと、リスクコミュニケーションにならないのでは？

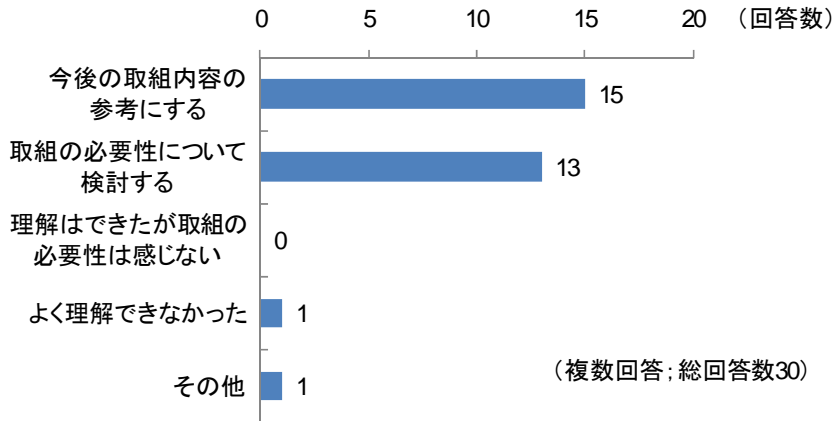
3 セミナー全体の満足度（一つ選択）



<「もっと詳しく説明してほしい」の内容>

- ・地震や緊急事態の時のリスクの分析と地域への影響について説明しているのか。

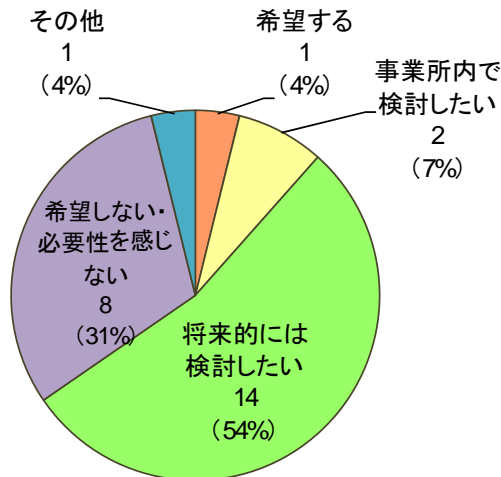
4 セミナー内容の今後の活用（複数回答）



<「その他」の内容>

- ・事業者への対応の参考にしたい。(行政)

5 宮城県のリスクコミュニケーションモデル事業（*）への応募意向（一つ選択）



<「その他」の内容>

- ・担当レベルでは回答が難しい。

(*) リスクコミュニケーションモデル事業とは、取組意向のある事業者を対象に、県がモデル的な会合型リスクコミュニケーションの開催を、準備段階から総合的に支援する事業(予定)のこと。

7 本セミナーについての意見・感想

- ・大変勉強になりました。(2件)
- ・取組事例で詳細な具体的事例を聞いたのでよかった。
- ・自主的な活動だと思いますが、県として、リスコミの取組事業者数の目標はあるのか。
- ・自社紹介のページが多すぎる気がします。
- ・参考となる内容でした。ありがとうございました。化学物質に偏り気味の感もありますが、それが社外住民の要望としてあるものと理解します。
- ・リスクコミュニケーションについてはよく分からず参加したが、よく理解できた。意外と他の会社はやっているな、という印象を受けた。
- ・今回、まったく予備知識のない状態で参加しましたが、非常によく理解でき、当社にも必要であると認識できてよかった。また、化学物質アドバイザーがどういうものであるのかよく理解できました。化学物質アドバイザーの制度があることはまったく知りませんでした。
- ・会社組織がまだまだ整っておらず、リスクコミュニケーションの取組には時間が掛かる。
- ・モデル事業はやれる事と感じましたし、また、やるべきと思います。環境で開かれた企業を目指します。
- ・化学物質アドバイザーについて知ることができ、大変参考になりました。
- ・第三者に入ってもらうことによって、スムーズなリスクコミュニケーションができると感じた。化学物質アドバイザー制度があることが分かりよかった。
- ・リスクコミュニケーションの目的と効果が明確となる事例が今後増えることと、ISO14001, OHSAS18001から見たリスクコミュニケーションに関して期待したい。緊急時のリスクを事前に伝えることの効果とその難しさを感じている。